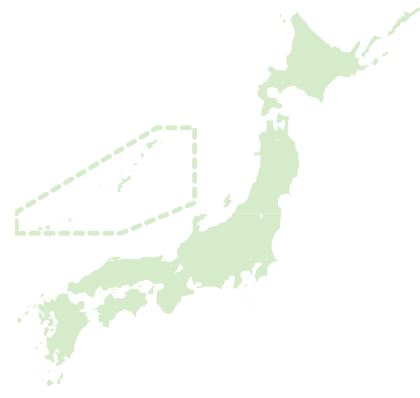


# 令和元年度 「言語聴覚の日」イベント報告



## 三重県

三重県言語聴覚士会では、令和元年9月15日に鈴鹿医療科学大学白子キャンパスにて開催された、救急・健康フェアに参加しました。医師会や看護協会等の様々なブースが展示される中、リハビリテーションブースでは健康維持に役立つ情報をお伝えすることを目的に、三重県言語聴覚士会・理学療法士会・作業療法士会が合同で運営を行いました。

言語聴覚士会のブースは9名のスタッフで運営し、認知機能チェック・嚥下機能チェック・職業紹介の展示等を行いました。認知機能チェックでは、ご家族で参加して頂ける方も多く、脳年齢を換算することで楽しんで体験して頂くことが出来ました。嚥下機能チェックでは、ご自身や身近なご家族の食事の様子を振り返り、嚥下機能を確認して頂くと共に、食形態の調整や誤嚥性肺炎の予防等についても知って頂くきっかけとなりました。

今回のイベントでアンケートを行ったところ、半数以上の方が“言語聴覚士を知らない”という回答結果でした。また、実際に訓練で使用する絵カード等の物品を見た方の中には、失語症や高次脳機能障害を初めて知ったという方や、聞いたことはあるけれど詳しくは分からないという方も多く、まだまだ言語聴覚士の役割は知られていないということを実感しました。今後もこのようなイベントを通じて、啓発活動を続けていきたいと思っております。

三重県言語聴覚士会広報局 高尾 詩織

